

株主の皆様へ

株式会社クレハ

KUREHA CORPORATION

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	・定時株主総会／期末配当 3月31日 ・中間配当 9月30日 ・その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。
公告方法	当社のWebサイトに掲載します。 (http://www.kureha.co.jp/ir/koukoku.htm) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問い合わせ先	

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

クレハ レポート

第97期期末報告書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第97期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)の「クレハ レポート(第97期期末報告書)」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、各国金融・財政出動の効果、中国など新興国の経済成長により輸出に持ち直しが見られましたが、民間設備投資は引き続き低調で、個人消費の一部に政策効果が現れたものの全般的な回復には至りませんでした。

化学工業におきましては、中国などアジア向けの輸出増加に加え、自動車、電気・電子関連の需要が回復しつつありますが、円高や国内需要の低迷など、依然厳しい状況が続きました。

当社およびグループ各社はこのような状況のもと、2012年度を最終年度とする新中期経営計画「中期経営計画GROW GLOBALLY(グローバル展開による成長)」の2年目である当期において、積極的な設備投資による事業拡大、既存事業のコスト低減、事業環境変動に対応した戦略の見直しに取り組んでおりますが、当期の連結売上高は前期比6.4%減の1,346億6百万円、営業利益は前期比39.7%減の57億6百万円、経常利益は前期比36.4%減の54億99百万円となりました。

当期純利益につきましては、関係会社株式売却等による税負担の増加があり、前期比53.4%減の15億71百万円となりました。

以上の状況のもと、当社は、利益の配分は業績変動の影響はあるものの、安定的・継続的な配当を実施していくことを基本方針としており、当期配当金につきましては、中間配当金5円、期末配当金5円と当初の予定どおり、年間配当金1株につき10円とさせていただきます。

激動ともいえる経済環境の真っ只中にあるこの機会に、クレハの存在意義(アイデンティティー)をもう一度見つめなおし、会社の進むべき方向の認識を社内で共有したいと考え、「クレハ流モノづくり」という小冊子を書き上げました。当社は歴史的に「技術立社」を標榜してきましたが、簡単に言えば化学を基盤に「モノづくり」でどう生きていくか?ということではないかと思えます。従業員向けの小冊子ですが、株主の皆様にも「株式会社クレハ」への理解を深めていただく一助になると思い、「クレハ レポート」とともに「クレハ流モノづくり」をお手元にお送りいたしました。ご一読いただければ幸甚でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月

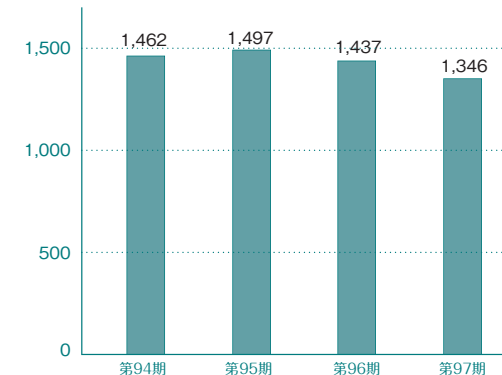


代表取締役社長 岩崎隆夫

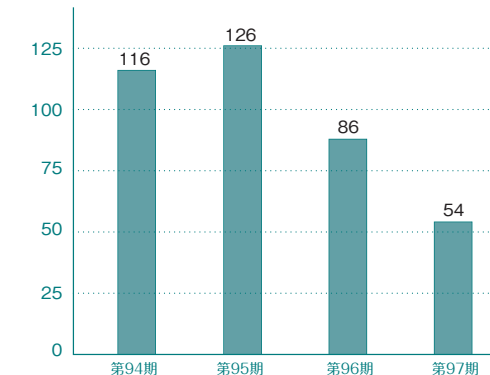
連結財務 ハイライト

	第94期 2006年度	第95期 2007年度	第96期 2008年度	第97期(当期) 2009年度
売上高 (百万円)	146,255	149,775	143,741	134,606
営業利益 (百万円)	11,841	12,722	9,456	5,706
経常利益 (百万円)	11,682	12,661	8,650	5,499
当期純利益 (百万円)	5,832	6,096	3,373	1,571
総資産 (百万円)	196,106	187,349	182,224	184,623
純資産 (百万円)	107,349	104,582	97,074	96,822
自己資本比率 (%)	54.2	55.2	52.4	52.2
1株当たり当期純利益 (円)	31.58	33.39	18.75	8.77
1株当たり純資産額 (円)	578.09	572.24	533.45	538.10

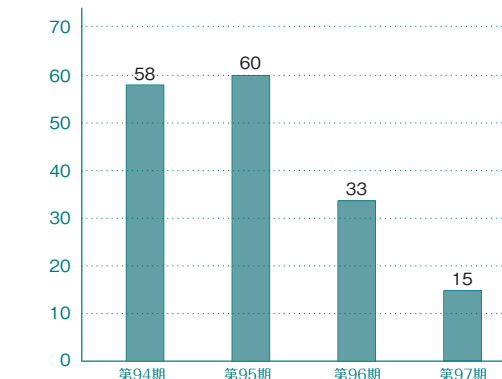
売上高(億円)



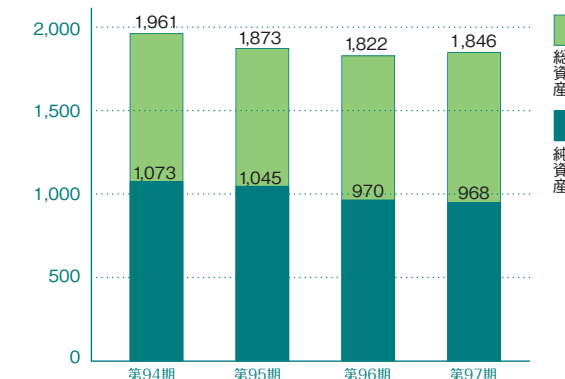
経常利益(億円)



当期純利益(億円)



総資産/純資産(億円)



2010年6月25日

東京都中央区日本橋浜町3-3-2

株式会社クレハ

代表取締役社長 岩崎 隆夫

第97回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、6月25日開催の第97回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

報告事項

記

- 第97期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第97期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 取締役10名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、岩崎隆夫、萩野弘二、鈴木直哉、宗像敬吉、小林 豊、佐川 正、須能則和、斉藤邦彦、高橋 武の9名が再選、重任し、紫垣由城の1名が新たに選任、就任いたしました。
- 第2号議案 当社株式等の大規模買付行為に関する対応策(買収防衛策)更新の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

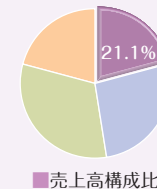
剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、利益を向上させ、資産効率を高めることにより企業価値を向上させることが株主の皆様の利益につながるものと考えています。利益の配分については、業績変動の影響はあるものの、安定的・継続的な配当を実施することが肝要であり、その上で企業体質の強化・将来の事業展開に備えた内部留保に充当することを基本方針としています。

なお、当期末配当金(1株につき5円)は、6月2日に既にお支払いをさせていただいております。

セグメント別営業の概況

機能製品事業

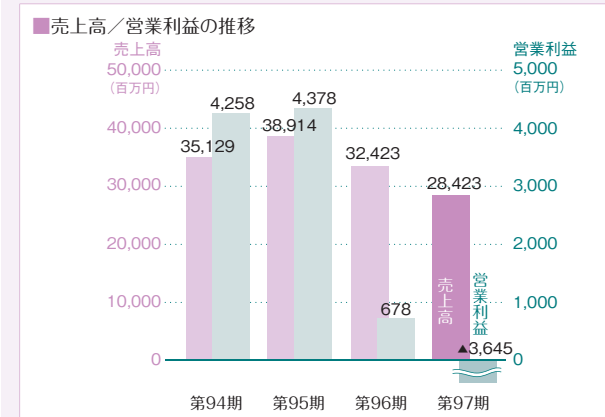


機能樹脂分野では、PPS樹脂は自動車および電気・電子素材用途の販売が好調に推移し売上は前期に比べ増加しましたが、米国における合弁事業の不振の影響により、営業利益は減少いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は、リチウムイオン電池用バインダーの販売は増加しましたが、工業用素材用途の販売減少に加え円高により、売上、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

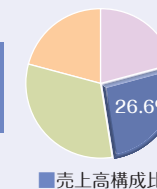
炭素製品分野では、特殊炭素材料は電池用負極材の需要が増加いたしました。炭素繊維は太陽電池パネル製造用等の高温熱処理炉用断熱材の需要が落ち込んだうえ、円高により、この分野の売上、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

なお、前期まで連結子会社でありました加古川プラスチック(株)(現社名:東レKPフィルム(株))の株式の一部を当期に売却し、持分法適用関連会社に変更したことにより、電気・電子素材用途向けの金属蒸着フィルムは売上、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前期比12.3%減の284億23百万円となり、営業損益は前期6億78百万円の営業利益から36億45百万円の営業損失となりました。



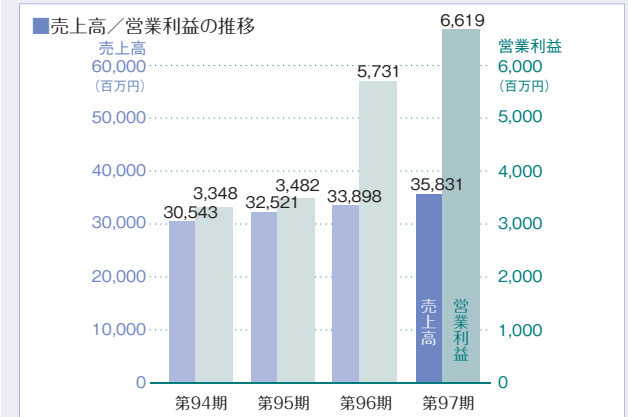
化学製品事業



医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」および抗悪性腫瘍剤「クレスチン」は売上げが増加したことに加え、「クレメジン」の国内販売契約締結に伴う一時金もあり、また、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の輸出は円高ユーロ安の影響を受けましたが、この分野の売上、営業利益ともに前期に比べ増加いたしました。

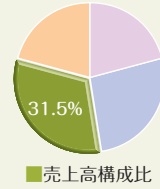
工業薬品分野では、か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類の製品価格は前期に比べ上回りましたが、クロロベンゼン類は下落し、この分野の売上、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前期比5.7%増の358億31百万円となり、営業利益は前期比15.5%増の66億19百万円となりました。



セグメント別営業の概況

樹脂製品事業



コンシューマー・グッズ分野では、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは前期に比べ増加いたしました。家庭用ラップ「NEWクレラップ」は改良された商品価値を反映する市場価格形成に注力したものの、競争激化により販売数量が減少し、この分野の売上げ、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

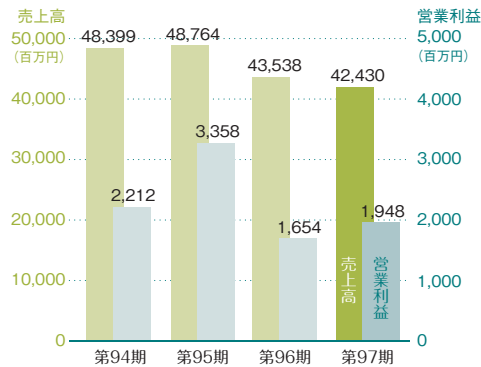
業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、ラミネート用ハイバリア・フィルム「ベセーラ」、多層ボトルの売上げは前期に比べ減少いたしました。欧州子会社の販売が好調に推移し、この分野の営業利益は前期に比べ増加いたしました。

包装機械はクリップレス自動充填結紮機等の売上げが好調に推移し、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは売上げが増加し、円高の影響を受けましたが、両製品ともに営業利益は前期に比べ増加いたしました。

なお、従来、非連結子会社でありましたクレハ・ベトナムCo.,Ltd.は、一部設備が稼働し、当期から連結対象といたしました。

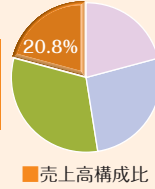
この結果、本セグメントの売上高は前期比2.5%減の424億30百万円となり、営業利益は前期比17.8%増の19億48百万円となりました。

■売上高／営業利益の推移



その他事業

(左記に属さないグループ会社の事業)



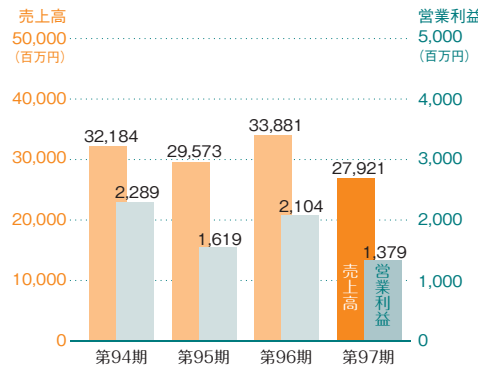
環境関連分野では、景気後退による経済活動の停滞により、産業廃棄物の排出が減少し原価低減に努めましたが売上げ、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

建設関連分野では、工事進行基準の適用による売上げ、営業利益の増加はありましたが、民間設備投資の低迷により売上げ、営業利益ともに前期に比べ減少いたしました。

運輸・倉庫関連分野では、運送部門での輸送量減少、競争激化を受け、売上げは前期に比べ減少いたしました。燃料費の低下や経費削減に努めた結果、営業利益は前期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上高は前期比17.6%減の279億21百万円となり、営業利益は前期比34.4%減の13億79百万円となりました。

■売上高／営業利益の推移



トピックス

「NEWクレラップ」パッケージの改良が国内外で評価される

「NEWクレラップ」が、包装・パッケージング技術に関する世界最上位の世界包装機構(WPO)主催の「WORLD STAR賞」を受賞しました。また、アジア包装連盟(APF)主催のアジアスター2009においても、デザイン、製品の2部門で「アジアスター賞」を受賞しました。

国内では2009年日本パッケージングコンテストの「食品包装部門賞」、GOOD DESIGN AWARD 2009の「グッドデザイン賞」、「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」、さらに経済産業省が表彰する製品安全対策優良企業表彰の大企業製造・輸入事業者部門で「優良賞」を受賞することができました。お客様から頂戴する貴重なご意見に耳を傾けることが、これらの受賞につながりました。

2004年から毎年続けているパッケージのリニューアルも今年で7年目。これからも、「いちばんうれしいラップになろう。」をコンセプトに、お客様の満足度向上を目指してまいります。



『NEWクレラップ』は7年連続のパッケージリニューアル



WORLD STAR賞



経済産業省
製品安全対策優良企業ロゴマーク

地域交流・・・地域対話集会

11月3日、勿来市民会館(福島県いわき市)において地域対話集会を開催し、近隣地域の住民の方々、行政、各種団体、関係機関、近隣企業、クレハグループ各社など、約130名が出席しました。当社は、いわき事業所の温暖化防止対策や臭気対策、地域住民の皆様に参加いただくスポーツフェスティバルや小学生への理科授業など、近隣地域の皆様との共生への取り組みについて説明しました。また、クレハグループからは(株)クレハ環境とクレハ錦建設(株)がそれぞれ環境・安全・地域にかかわるRC(レスポンスブル・ケア)活動の取り組みについて紹介しました。

当社は今後も地域社会との共生を維持すべく対話を続け、地球市民として企業の社会的責任を認識し活動してまいります。



約130名が出席した地域対話集会

財務諸表(連結) 2010年3月31日現在

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 金額(百万円)

資産の部			負債の部		
科目	当期(第97期) 2010年3月31日現在	前期(第96期) 2009年3月31日現在	科目	当期(第97期) 2010年3月31日現在	前期(第96期) 2009年3月31日現在
流動資産			流動負債		
現金および預金	7,213	7,264	支払手形および買掛金	16,833	18,228
受取手形および売掛金	31,837	30,137	短期借入金	14,809	17,353
商品および製品	14,514	17,773	未払法人税等	1,740	1,216
仕掛品	1,123	2,005	賞与引当金	2,138	2,224
原材料および貯蔵品	5,110	5,962	役員賞与引当金	34	64
その他	5,884	5,603	その他	12,877	13,349
貸倒引当金	▲112	▲154	流動負債合計	48,433	52,436
流動資産合計	65,571	68,592	固定負債		
固定資産			社債	15,000	15,000
有形固定資産			長期借入金	18,160	11,680
建物および構築物(純額)	28,413	26,930	退職給付引当金	1,231	2,047
機械装置および運搬具(純額)	24,713	25,113	役員退職慰労引当金	361	432
その他(純額)	28,667	25,320	その他	4,614	3,552
有形固定資産合計	81,794	77,363	固定負債合計	39,367	32,713
無形固定資産			負債合計		
無形固定資産	1,030	1,108		87,801	85,149
投資その他の資産			純資産の部		
投資有価証券	21,173	18,678	株主資本	93,655	93,988
その他	15,482	16,975	評価・換算差額等	2,764	1,586
貸倒引当金	▲428	▲494	新株予約権	54	47
投資その他の資産合計	36,227	35,159	少数株主持分	347	1,452
固定資産合計	119,052	113,631	純資産合計	96,822	97,074
資産合計	184,623	182,224	負債・純資産合計	184,623	182,224

主な連結対象会社(2010年3月31日現在) 連結子会社数:33社 / 持分法適用会社:2社

■機能製品事業(全9社)

レジナス化成(株)
クレハ エクステック(株)
日本エクストロン(株)
クレハ GmbH(ドイツ)
クレハ・アメリカInc.[アメリカ]
クレハ・アドバンスド・マテリアルズInc.[アメリカ]
クレハ・ピージーエーLLC[アメリカ]
上海呉羽化学有限公司[中国]

[持分法適用会社] 東レKPFフィルム(株)

■樹脂製品事業(全9社)

クレハプラスチック(株)
クレハ合繊(株)
クレハロン・インダストリーB.V.[オランダ]
クレハ・ヨーロッパB.V.[オランダ]
クレハ・ベトナムCo.,Ltd.
その他3社

[持分法適用会社]
南通匯羽豊新材料有限公司[中国]

■その他事業(全17社)

(株)クレハ環境
(株)クレハ分析センター
(株)クレハエンジニアリング
クレハ錦建設(株)
クレハ運輸(株)
錦商事(株)
(2010年4月1日に社名を(株)クレハトレーディングに変更)
クレハサービス(株)
クレハスタッフサービス(株)
その他9社

連結損益計算書 金額(百万円)

科目	当期(第97期) 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	前期(第96期) 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	134,606	143,741
売上原価	100,648	105,193
売上総利益	33,958	38,547
販売費および一般管理費	28,251	29,091
営業利益	5,706	9,456
営業外収益	1,481	1,351
営業外費用	1,688	2,156
経常利益	5,499	8,650
特別利益	715	358
特別損失	2,749	2,999
税金等調整前当期純利益	3,465	6,009
法人税等	1,979	2,719
少数株主損失(加算)	▲85	▲83
当期純利益	1,571	3,373

連結キャッシュ・フロー計算書 金額(百万円)

科目	当期(第97期) 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	前期(第96期) 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,847	11,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲17,682	▲20,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,999	10,704
現金および現金同等物に係る換算差額	▲261	▲462
現金および現金同等物の増減額	▲97	1,144
現金および現金同等物の期首残高	7,264	6,120
新規連結に伴う	45	—
現金および現金同等物の増加額	7,213	7,264

連結株主資本等変動計算書 (2009年4月1日から2010年3月31日まで) 金額(百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2009年3月31日残高	12,460	10,013	72,779	▲1,265	93,988	3,756	▲5	▲2,165	1,586	47	1,452	97,074
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			▲1,791		▲1,791							▲1,791
当期純利益			1,571		1,571							1,571
自己株式の取得				▲6	▲6							▲6
自己株式の処分		1		17	19							19
連結範囲の変動			▲124		▲124							▲124
欠損填補		▲66	66		—							—
在外子会社の 従業員奨励福利基金の積立			▲1		▲1							▲1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						1,233	5	▲60	1,178	7	▲1,105	80
連結会計年度中の変動額合計	—	▲64	▲279	11	▲332	1,233	5	▲60	1,178	7	▲1,105	▲252
2010年3月31日残高	12,640	9,948	72,500	▲1,253	93,655	4,990	—	▲2,225	2,764	54	347	96,822

単独の財務諸表は、当社Webサイト、「TOPページ」→「投資家情報」→「IR資料室」→「有価証券報告書」をご参照ください。(http://www.kureha.co.jp/ir/library/youka.html)

会社の概要

会社の概要 (2010年3月31日現在)

商号	株式会社クレハ
本店	東京都中央区日本橋浜町3-3-2
設立	1944年6月21日
資本金	12,460百万円
グループ従業員数	4,101名(単独:1,352名)

事業所 (2010年3月31日現在)

支店	大阪支店
営業所	名古屋営業所、福岡営業所、仙台営業所
事業所	いわき事業所(福島県いわき市)
研究所	総合研究所(福島県いわき市) 生物医学研究所(東京都新宿区) 加工商品研究所(茨城県小美玉市)

当社の概要は、Webサイトでもご覧いただけます。
<http://www.kureha.co.jp/>



当社Webサイトに「個人投資家のみなさまへ」を開設しております。身近にあるクレハ製品や、業績の概況についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。

「TOPページ」→「投資家情報」→「個人投資家のみなさまへ」
<http://www.kureha.co.jp/ir/personal/index.html> からご覧ください。

取締役・監査役・執行役員 (2010年6月25日現在)

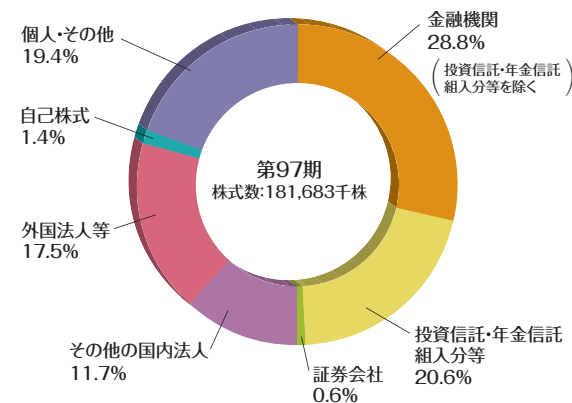
代表取締役社長	岩崎 隆夫
代表取締役専務執行役員	萩野 弘二
代表取締役専務執行役員	鈴木 直哉
取締役専務執行役員	宗像 敬吉
取締役常務執行役員	小林 豊
取締役常務執行役員	佐川 正
取締役常務執行役員	須能 則和
取締役常務執行役員	紫垣 由城
独立社外取締役	斉藤 邦彦
独立社外取締役	高橋 武

常勤社外監査役	平野 恭昌
常勤監査役	亀山 裕通
常勤監査役	阿久根 豊
社外監査役	木村 和俊

執行役員	蛭田 宣行
執行役員	渋谷 幸広
執行役員	福沢 直樹
執行役員	上田 直毅
執行役員	中谷 秀雄
執行役員	松尾 修介
執行役員	山本 孝士
執行役員	小口 義春

株式の概況

株式の所有者別構成比 (2010年3月31日現在)



株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	181,683,909株
株主数	16,308名

大株主の状況 (2010年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,267	7.9
明治安田生命保険相互会社	13,746	7.6
東京海上日動火災保険株式会社	13,368	7.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,928	5.5
オーエム04エススピークライアントオムニバス(オーストラリア)	6,221	3.4
第一三共株式会社	5,830	3.2
ジュニパー(サウジアラビア)	4,170	2.3
株式会社みずほコーポレート銀行	4,000	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,819	2.1
株式会社損害保険ジャパン	3,359	1.8

注) 出資比率は、自己株式(2,498千株)を控除して計算しています。

株価および出来高の推移

